

# ぶな

2022年10月号

NO.523



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 巻頭言

# 念願の劔岳

H 浦 A 子

昨年、蓬萊からホッケに登るのにバテてしまいもう来年で登山は辞める、だから最後に劔岳に連れて行って欲しいと H 島さんにお願ひしました。

よく考えれば無理難題、体力が無くなってきているのにあの劔岳に連れて行ってなんて。

あー自己中に見栄っ張り！

でも山登りをしていた限りは劔に登りたい、そして登ったよって言いたい！

そんな我儘を聞いてもらい 7 月に濱島さん、F 野さん、F 川さん 4 人でいざ劔岳へ。

馬場島登山口の石碑（試練と憧れ）の前で記念写真。

さすが早月尾根、長い急登！気分転換に大木を見つけては皆でポーズの撮影会。早月小屋迄 5.1 km 高度 1494m、長い登りでした。

二日目朝、小屋で早月 T シャツを買いザックの中に。

岩稜帯も思ったより長い、頂上まであと 0.7 km の看板を見てからも遠かった。山頂はずっとガスがかかっていたが、私たちが頂上にいた 1 時間ほどは陽が当たりちょこちょこ周りの山々も見え、持って来た T シャツを着てハイテンションで写真撮影。最高の気分！

三日目、昨夜は土砂降り出発の時は小雨になっていたけれど帰りは木の根っ子だらけ細心の注意を払い無事下山。

早月小屋は、本当に一滴の水も無くトイレと玄関に消毒用アルコールがあるだけで食器も使い捨てでした。

無理なお願いで連れていってもらった劔岳、凄く楽しく三日間過ごせました。登頂出来て良かった。ありがとうございました。

劔岳 T シャツ、いい記念になりました。

## <目次>

巻頭言 .....	1
目次 .....	2

### 【登山祭典(秋の公開山行)案内】

- ・山門水源の森～東ヶ谷山(657.5m)～大浦越  
(10月23日) .....3

### 【例会山行案内】

- ・鈴鹿 県境稜線を往く⑤  
832m峰～仙ヶ岳～小社峠(10月30日) .....4
- ・第23回比良山系飲み水水質調査・第8回放射線測定山行  
(11月3日) .....5

### 【講座報告】

- ・夏原グラント環境講座(8月27日) .....6

### 【写真展報告】

- ・比良雪稜会 山と自然の写真展(9月8～13日) .....7～8

### 【例会山行報告】

- ・大和三山(畝傍山・香久山・耳成山)(9月3日) .....9～11
- ・鳶岩・牛山・写真展(9月11日) .....12～13

### 【初級登山教室報告】

- ・京都北山 金毘羅山クライミング体験(9月10日) .....14～17

### 【定例会報告】

- ・第6回運営委員会(9月13日) .....18～20
- ・10月予定表 .....21

= 表紙の写真 =

水平歩道

2021.10 撮影:K嶋

<登山祭典(秋の公開山行)案内>

湖北

やまかど

ひがしがたにやま

山門水源の森～東ヶ谷山(657.5m)～大浦越

… びわ湖眺望とブナ黄葉など 秋を満喫しませんか! …

日 程： 2022年 10月23日(日) 雨天中止

コース： 堅田駅 7:30=(貸切バス)=小野駅=和邇駅==西浅井町山門・山門水源の森入口～山門水源の森巡り～東ヶ谷山～大浦越～国道161号(敦賀市山中)=(バス)=和邇駅・小野駅・堅田駅(17:30頃帰着予定)

歩 4～5時間

集 合： JR 堅田駅 7:30 小野駅 7:40 和邇駅 7:45

交 通： 貸切バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等の日帰り装備

参加費： 会員&家族・会友：2500円

一般：3500円(バス代・入山協力金・保険代等)

定 員： 45名

締 切： 10月17日(月) 但し定員になり次第締切

担当&申込先：西村高 tel&fax 077-594-0454

eメール：[kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

※山行中以外はマスク着用、バス乗車時は手指消毒・検温をお願いします。

※集合は 堅田駅・小野駅・和邇駅のいずれか。

秋のメイン行事です!

会員は早めに申込ください。

友人・知人も是非お誘いください。

野点はありませんが、賑やかで楽しい山行としましょう!

## <例会山行案内>

### 鈴鹿 県境稜線を往く⑤

#### 832m峰～仙ヶ岳～小社峠

832m峰から小社峠までの県境縦走路踏破が今回の目的です。仙ヶ岳（961m）から832m峰折り返しのコース設定はつらいところ。

仙ヶ岳は西峰（961m）と東峰（仙の石）の2峰からなる鈴鹿山脈南部を代表する秀峰です。

鈴鹿県境稜線をつないでいきましょう。

日 程： 10月30日（日）

集 合： 堅田駅 6:00

コース： 堅田駅 6:00＝米プラザ 6:05＝大石橋 8:00～仙鷄尾根～仙ヶ岳 12:00～832m  
峰ピストン～仙ヶ岳 14:00～小社峠 14:30～大石橋 16:30＝堅田 18:30（解散）

難易度：体力★★★☆☆ 技術★★★☆☆

装 備： 弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト  
その他日帰り登山装備

申込先 H島

締切日 10月24日（月）

中 止： 前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合、正午（12:00）までに連絡します。

## <例会山行案内>

### 第 23 回比良山系飲み水水質調査・第 8 回放射線測定山行

今年も「夏原グラント」の助成を受けての実施が決まりました。  
長い間当会が続けている自然保護活動のひとつです。南比良峠で両コースが会えるかどうか楽しみです！！ご協力お願いします。

<日 程> 11月3日(木祝) 7:00 和邇川河川敷 集合

<コース>

1 班 大橋スリバチの水方面

和邇川河川敷＝坊村～牛コバ～○大橋スリバチの水～南比良峠(昼食)  
～烏谷山～摺鉢山～○白滝谷登山口湧水～坊村＝○権現山登山口湧水(採水)  
＝事務所

2 班 荒川峠方面

和邇川河川敷＝(中谷出合登山口へ配車)＝●イン谷口～●大山口～  
●カモシカ台～●北比良峠～○●八雲ヶ原水場～●金糞峠～  
●南比良峠(昼食)～●荒川峠～○●荒川峠道湧水～●中谷出合登山口  
＝(イン谷口へ車回収)＝○●金比羅道の湧水＝事務所

※○印は採水場所、●印は放射線測定場所です。

※採水容器等は会で用意し、朝お渡しします。終了後事務所に集めます。

※放射線測定は、機器が1台しか借りられないため、荒川峠方面のみの測定です。

※交通費・検査費用は、夏原グラントから助成されます。

<レベル> 体力 ★★★☆☆ 技術 ★★☆☆☆

<持ち物> 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、マスク、消毒薬、  
その他日帰り装備

<申込み先> 自然保護担当 K 藤  
希望コースを明記のうえ、お申し込み下さい。

<締め切り> 10月28日(金)

今年のこの事業は昨年に続いて平和堂財団環境保全活動助成事業  
「夏原グラント」の助成を受けて実施します。



## <講座報告>

### 夏原グラント環境講座の報告

8月27日(土)に滋賀県立県民交流センターにて、助成団体の交流会があり西村会長と参加してきました。

滋賀県内16団体22名の参加で、まず各団体のアピールに始まり、その後4つのテーブルに分かれ、1.好きな食べ物、2.活動していて喜びを感じる時、3.活動の達成度、4.団体の強みと課題についてそれぞれ話しながら自己紹介し、興味ある方に質問したり、問題点の解決を尋ねたり、時間が足りなくなる位活発な交流ができました。

その中で以前から登山道で気になっていた農業関係のごみが、琵琶湖の底にたくさんたまっている事を知り驚いた事、高齢化の対策として、子供を対象にしたイベントをやりその親を活動に引き込むという事が、印象に残りました。今後の当会の活動に生かせるようにちょっと考えてみようと思いました。

また、今年の「清掃登山報告書(県連ニュース掲載分)」と「山と自然の写真展 案内チラシ」を全員に配布したところ、写真展や当会への反応があった事は、嬉しい限りです。

以上、K藤

## <写真展報告>

### 比良雪稜会写真展報告

写真展実行委員会

9月8日（木）から13日（火）に、喫茶&ギャラリー「るーむ撫（ぶな）」において「比良雪稜会 山と自然の写真展」を開催しました。

会員お気に入り写真33点と例会時写真30点を展示し、期間中85名（会員26名 OB6名 滋賀山友会2名 その他51名）プラス若干名（記帳されていない方）の人が会場に訪れ鑑賞されました。比良雪稜会の活動内容を広く周知しPRできたものと思っています。

写真を提供いただいた方、運営に当たり協力いただいた皆様、会場まで足を運んでいただいた方々に深く感謝いたします。

（感想）

写真を選び、プリントし、展示する。手間ひまかけたからこそその味わい深いものになりました。

H 島 S

お当番だったY生さんと、一枚一枚写真を見ながら撮影のエピソードを聞かせてもらい、感想や思い出を語りあい時々二人で撮影者の気持ちを想像してみたり。そこに接点があることで写真を見る楽しみが何倍にも膨らんだ気がします。いまごろですが写真の持つ力を再認識し、写真って良いなあと思いました。

K 林 T 子

想像していた以上に良かったです。ぶなで小さく見ているのとは全然違いました。大きな写真はやっぱり綺麗。やっぱり皆さん撮りなれていらっしゃる。見応えがありました。また、開催されると嬉しいです。ただ役員の方が10時から5時迄、詰めているのは負担が多いと思いますが、どうでしょうか？

H 浦 A 子

雪稜会の写真展を伺い、すっきりとしたデコレートで、おしゃれな感じにうっとりした。いつもは事務所に飾ってある写真を見るたび創会40年の歴史に圧倒されているのだが、明るいギャラリーの美しい風景、花々の写真に癒され、十分に目を楽しませてもらった。しかし、山行中によくこんな美しい写真や奇跡の1枚が撮れるものだと感心するばかり。歩きながら、あはは、と一緒に談笑しているあの人が、瞬時に素



晴らしい写真を撮っているなんてと驚いた。また集合写真の中に写してもらっている自分を見て、子供のように嬉しく感じた。写真展の開催にあたり、ご尽力して下さった会員の皆さま、本当にご苦労様でした。本当に有難うございました。 S藤M子

皆さんの力作を興味深く拝見させていただきました。写真好きの私にとって非常に参考になりました。委員の方は大変だと思いますが、今後も定期的開催して欲しいです。次回は『山小屋(テント)での生活』、『山での食事』、『自然の足跡(猛威)』など、何かテーマを決めて募集されても面白いのではないかと思います。

T中T彦

写真展を終了して感じることは、写真展を開催して良かったと思います。例会や個人山行時に撮影したどの写真も生き生きとしており、行った時の感動が蘇るようでした。次回の写真展は是非多くの会員の方が参加頂いて、色んなテーマで行えればと考えております。実行委員の皆様大変お疲れ様でした。

N野T光



## <例会山行報告>

### 大和三山（畝傍山・香久山・耳成山）

日 程：9月3日(土) 晴一時雨

参加者：CL K原、SL H島、A本、T中(T)、F川、K藤(記録) 計6人

行 程：

暑い！秋雨前線や台風のために曇りか雨と思っていたこの日、晴れました。  
標高差多くて100m ちょいというなかなか体験できない町の中の三山を歩いてきました。

- 08:30 近鉄京都駅改札集合。8時45分発の特急(運賃と合わせて1,820円)に乗り  
9時38分橿原神宮前到着。
- 09:42 出発。町の中を歩き、橿原神宮へ。
- 10:00 本宮で登山のお許しを頂き無事をお祈り、北の参道を少し行ったところで
- 10:04 登山口。うっそうとした森の中を歩くと正面に畝傍山が見えた。まだまだセミ  
が煩い。しばらくトラバース気味に歩き、里山らしくたくさんの人とすれ違う。  
途中見晴らしはほとんどないが、頂上手前で木々の間から町を見下ろせるところがあった。
- 10:30 畝傍山(198.5)着。頂上はそこそこ広く三角点があり、木のベンチがいくつか  
置いてある。先に何人か休んでいる。見晴らしのある所で集合写真を撮る。
- 10:49 ゆっくり休んだ後、元の道を降り二つ目の分岐で北西へ向かう。なんかすごく  
遠回りをしている気がする。小さな山なのでリーダーが気を利かせ、わざと  
遠い道を選んでいるようだ。
- 11:23 畝傍山の北側の麓を行くと、立派なお屋敷が数多く並んでいた。神武天皇陵着。  
小休止。
- 11:55 住宅と田畑を抜けて、本薬師寺着。住宅が併設された小さな本殿前の小さな敷  
地に、大きな基礎石が所狭しといくつも並んでいる。
- 12:22 住宅街の中に突然和菓子屋が！みたらし団子の旗に惹かれ、みんなの分を買  
う。  
なんと注文してから焼きだした。おいしかったけど～

- 12:31 登山口。セミの鳴く森の中に行く。
- 12:42 香久山(152m)着。広い頂上に拝殿付きの小さなお社があった。木々の隙間から耳成山が見えた。昼食。同じ行程を歩く老若男女の団体があり、ここで食事が一緒になった。雨がパラッと降り出す。
- 13:07 出発。落ち葉が積もるやや急坂を降り、香久山神社に挨拶して、また住宅地と田んぼ歩き。
- 13:37 藤原宮跡に出た。広々した草原、北の方に復元された赤い柱が見える。柱の所で写真を撮りさらに北へ、住宅を通り JR と近鉄の 2 本の線路を渡り、円錐形のきれいな形の耳成山を目指す。途中雨が降ってきた！傘をさして歩くも、まもなく止んだ。
- 14:07 池の横を通って登山口着。他の山と出来方が違うのか足元が岩でとても滑りやすい。セミが鳴き石灯籠が並ぶ道を慎重に登る。この山は一番町に近そうだけど、歩く人は少なかった。
- 14:21 耳成神社で小休止。拝殿には、大きな絵馬がいくつも飾ってあった。
- 14:26 耳成山(139.3m)頂上。写真を撮って小休止。今度も直下りず螺旋形に下る。そろそろ疲れてきたので、遠回りしたくない気分。足をつる人が出た。水分と塩分不足か？
- 14:41 近鉄八木駅着。15時6分発の特急に乗り、16時京都駅解散。その後いつものお楽しみ。長い街歩きでしたが、歴史深い三山は興味深かったです。お疲れさまでした。

(K 藤)



畝傍山山頂



藤原宮跡

## <例会山行報告>

### 鳶岩・牛山・写真展

【日時】2022年9月11日(日)

【天候】晴れ

【コース】

和邇川河川敷駐車場＝比良げんき村～滝山登山口～分岐～トラバース道出合～  
鳶岩～牛山～滝山道出合～滝山登山口～比良げんき村＝るーむぶな(解散)

【参加者】

H島(CL・車・救急)、H浦(SL)、K藤、H部M(会計)、H部F  
N野(車)、T中T、S井(記録)、K原、S水、K嶋 計11名

【行程】

8:00 和邇川河川敷駐車場集合、車3台で比良げんき村駐車場へ移動

8:30 地図を見ながら本日の行程説明

8:40 出発 キャンプ場を抜けて登山口へ向かう

8:50 滝山登山口

今年は雨が多くいろいろな種類のきのこが見れる。白くて大きな  
オオシロカラカサタケや、あやしげなほど鮮やかなオレンジ色のはじめとした  
名前はわからないけどきっと毒きのこ。

9:15 休憩

蒸し暑く風が少ないので水分が早く減る。

9:40 分岐

10:15 鳶岩 景色の良い岩場で集合写真撮影

とても迫力があり怖いくらいでした。

10:40 牛山到着、休憩

11:10 池に到着、昼食(約30分)

12:15 分岐

13:05 滝山登山口まで戻る

予定よりもやや早かった。

13:25 るーむぶなの写真展へ移動

みなさん思い出話に花を咲かせていました。わたしも3枚ほど映っていました。

15:00 ごろ 解散

S井



鳶岩



牛山山頂

## <初級登山教室報告>

### 京都北山・金毘羅山/クライミング体験

日 時 2022 年 9 月 10 日 (土) 曇りのち晴

講師及びスタッフ：T 内(彷徨倶楽部) N 森(彷徨倶楽部) M 田 (湖南岳友会) K 口(滋賀山友会)

受講生：T 本(滋賀山友会) S 口(滋賀山友会) N 村(比良雪稜会) S 藤 (比良雪稜会)  
S 水(比良雪稜会)

行 程：寂光院駐車場(8:30)～江文神社登山口(9:00)～北尾根の取付(9:40)～クライミング開始(10:00)～北尾根～Y 懸の頭・昼食(13:00)・懸垂下降体験～下山開始(15:30)～江文神社(16:00)～寂光院駐車場・今日の振り返り・反省(16:50)

講習の内容：登山口でクライミングの装備を装着

(ハーネスを付け、左右にカラビナを取り付ける。ヘルメットを被る)

- ①3 人ずつのグループで行動し、ビレイ体験をする。
- ②リードで登る人の動きをしっかりと見ながらビレイすること。
- ③登るときは腕力ではなく足で登る。必ず置くところがあるのでしっかりと見て探す。
- ④岩が濡れていると滑るので岩を信頼せず気をつけて登ること。

以上、今日の講習の注意点を聞き、北尾根の取付まで移動。クライミングシューズに履き替え、ロープを出して準備。受講生と指導者で3つのグループに分かれて登ることとなる。

(①K 口・T 本・S 口 ②T 内・N 村・S 水 ③N 森・M 田・S 藤)

グループ②ではまずそれぞれハーネスにエイト・ノットでロープを結ぶ。何とか自分で装着できるが、確認してもらおうとタイインポイントに通るロープをもっと短くすることや結び目をしっかりと締めることなどチェックしていただき具体的に指導を受けた。カラビナやビレイデバイスの向きを確認。メインロープを使ってクローブヒッチでセルフビレイする。1ピッチ目、リードのT内氏が登り、S水がビレイ体験する。ビレイデバイスにロープを通してセット。前回に経験した時はロープを繰り出すだけで

余裕なく必死だったが、今回は少し要領がわかってきた。右手（引き手）を下で握って左手でロープを繰り出していく。T内氏の動きを見ながら、張りすぎないように、たるみすぎないようにと緊張しながらビレイした。T内氏が1ピッチ終了点まで登った後、セカンドでN村さんが登攀開始。続いてS水も登り始める。岩が濡れていて登りはじめが滑って難しかった。2ピッチ目はN村さんがビレイを行う。2本のロープが絡んでしまい直すのに苦労した。

3ピッチ目、4ピッチ目も交代して回ビレイを体験した。乾いているところは登りやすいが岩の状況によって滑ってしまうので、気を付けながら足掛かりを探した。

Y懸の頭まで登攀。昼食をとった後、①②グループは2か所で懸垂下降の準備をする。ビレイデバイスのセット、フリクションコードを使ってのバックアップの付け方を指導いただき、懸垂下降を行う。体をロープに預けてできるだけ体を伸ばしてアロバイスに従って降りる。③グループも登ってきたのでN森氏に懸垂下降の説明をお聞きし、各自体験する。2回目に挑戦しようとして準備をしていたが、いざ下降！という時に手の指が攣ってしまい、自身では開閉ができない状態。暑さ激しかったので水分、塩分ともに不足だったのかもしれない。残念ながら懸垂下降は断念。他の受講生は何度か実施。

予定時刻となったので下山開始。道が湿っていて滑りやすく、注意して下山した。下山後、駐車場で今日の感想や反省を行う。事後の指導として、ビレイをすることでリードがどんな状況で動いているかがわかる。ロープでつながっている＝相手の気持ちを掴むことがクライミングでは必要である。懸垂下降では失敗すると下に落ちるリスクがある。間違っていると危険。結び方など気を付けて、どんな場合でも確実にできるように繰り返し練習することが大事であると教えていただいた。クライミングの実技も3回を終え、講義でお話をお聞きし実践する中で少しずつ分かっていくとともに、反面、怖さも感じてきている。安全にクライミングを楽しむために、ミスのないよう慎重に行動することや器具の扱い方、ロープワークなどをしっかり身に付けなければいけないと思う。次回はしし岩に場所を変えての挑戦。しばらく時間が空くが、教えていただいたことを忘れないようにしたい。残暑厳しい中、いろいろとご指導いただきありがとうございました。（S水：記）

#### <一口感想>

久々の山行で、まだまだ暑さの残る中での活動はとてもきつかった。でも、1度でも登った岩はどこか身体が覚えていて、自然と手や足が動く感覚があった。登っている最中に「足で登ろう、足で」と意識することもできた。問題は、ロープワークや



様々な器具の扱いだ。現場でスピードを要すると、エイトノットさえあやしくなる。自分やメンバーの命を守るためにも、仕方ないでは済まないの、習得したい。暑いなか、マルチピッチクライミングだけでなく、できていなかったビレイの練習や垂直下降のご指導を熱心にしていただき感謝です。(S 口)

登っていく様子を下から見ていると、足はあっちに、手はあちらにと思えるのに、いざ自分の番になるとなかなか見つけることが出来なかった。ビレイの練習をさせていただきありがとうございました。動きを見ながらロープを繰り出そうとすることで精一杯でした。懸垂下降のロープが重くビレイデバイスに1人でセットするのは難しかったです。セットの練習をしたいです。(N 村)

今回の金毘羅山クライミングでは、セルフビレイとロープワークの重要性についてこんこんと熱血指導して頂きました。また大原の里を眼下にしてのクライミングで日頃のストレスが吹っ飛びました。金毘羅クライミングゲレンデでの懸垂下降でも、覚えられないことが満載で大変でしたが、2回行った懸垂下降の2回目、手の動かし方が少しスムーズにできるようになりました。分かりやすいご指導、本当に感謝致します。猛暑の中、皆様本当にご苦労様でした。(S 藤)

クライミングの実技講習も少しずつ要領がつかめてきて、今回ビレイをさせてもらって4ピッチ登った。ただ、ロープをどの程度張ったらよいのか、リードの人が見えなくなった時のロープの送り出しのタイミングなどは難しいと感じた。また、自分が登るときも急な壁になると体が岩に寄って、足下が見えにくくなるなど、体を思うように動かせるようにしていきたいと思った。懸垂下降は手順を素早くこなせるように習熟していきたいと思った。回を重ねるごとに少しロッククライミングの楽しさも味わえてきたように思う。スタッフ・受講生の皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。(T 本)

足元の悪い中、お疲れさまでした。マルチピッチで4ピッチを受講生にビレイしてもらいました。

トップのビレイをするとリードクライマーがどのように登っているか伝わってきます。クライミングは信頼関係なしにできないことが分かっただけでしたか？午後からの懸垂下降は初めての人は理解しづらかったかも知れません。自分に合ったやり方を覚えて繰り返し練習することです。降りる準備で特に利き手を離さずに手早

くセットできることがポイントです。1にも2にも自分の身の安全を第一に楽しんでください。  
(T内)

日常ではあまりしない動作&行動です、結び方や器具の取り扱いを熟知し本番に臨むことが、安全登山に繋がると思います。  
(M田)

気になっていた懸垂下降の説明がやっとまとまった形でできたので、少し肩の荷が下りました。

本来は、懸垂のセットやロープワークの基本だけを、丸1日かけて実技講習すべきだろうと思いますが、それは今後の課題です。

クライミング講習も回を重ねると、覚えるべきことが多くなり、基本的な点が曖昧になりがちです。カラビナのロック締め忘れ、マイナーアクシスの見落とし、ビレイデバイス向き取り違い、結びのミス、スリング使用法の誤り等、一つ間違えると事故の原因になりますので、全ての操作や動作が確実にできるように、今一度確認し直して、体が覚えるまで繰り返し練習しておいてください。  
(N森)



## 2022 年度第 6 回 運営委員会報告書

出席：N 村、N 野（記録）、K 林、K 藤、I 井、H 浦、T 中 T、K 嶋、H 野

欠席：A 本、F 野

場所：和邇コミュニティーセンター第 4 会議室

日時：2022 年 9 月 13 日（火）19 時 30 分～20 時 45 分

### 1. 登山祭典（秋の公開山行）について（10/23 開催予定）

#### 1) 山門水源の森～東ヶ谷山～大浦越のコース

- ・ 集合：JR 堅田駅 7:30～小野駅 7:40～和邇駅 7:45
- ・ 交通：貸切大型バス
- ・ 持物：弁当・飲み物・雨具・ライト等の日帰り装備
- ・ 参加費： 一般：3,500 円（バス代、入山協力金、保険代等）  
 会員・会員家族・会友：2,500 円
- ・ 募集定員：45 名
- ・ 申込締切：10 月 17 日（月） 但し、定員になり次第締め切ります。

#### 2) 登山祭典の案内用チラシの配布

- ・ ぶな 9 月号に掲載出来なかったため、メール配信で会員に送付して友人・知人への声掛けを依頼した。ぶな 10 月号に登山祭典の案内を掲載する。
- ・ 現在、一般で 11 名の申し込みがあり、内夏原グラント交流会で知り合った他団体から 1 名。

#### 3) 下見(草刈)と準備会（10/19(水)の予定）

- ・ 下山地点から国道までの間、雑草がひどい為、7:00 集合して草刈りを実施し、事務所に戻り、14:00 から準備会を行う。

#### 4) 県連からの案内

- ・ 県連ニュース 9 月号に各会と共に登山祭典の案内を掲載。

### 2. 写真展について

#### 1) 写真展の準備

- ・ 8/24（水）に事務所で写真の額入れと紐付け作業実施。  
 比良雪稜会の紹介用のパネルとチラシの作成。（N 村）
- ・ 9/7（水）にるーむ樺（ぶな）への写真搬入と展示作業の実施。

## 2) 写真展の開催

- 9/8 (木) ~9/13 (火) に「比良雪稜会 山と自然の写真展」を開催。  
お気に入り写真 33 点・例会山行における笑顔の集合写真 30 点を展示。
- 大津市の「広報おおつ」に写真展案内が掲載された他、毎日新聞・読売新聞・京都新聞に写真展情報が掲載された。内毎日には写真入り。
- 写真展会場に登山祭典のチラシと雪稜会の案内のチラシを配置した。また会報「ぶな」9月号と40周年記念誌も見れるように置く。
- 来場者数は全員で 85 名 +  $\alpha$ 。内訳は一般：51 名、会員：26 名、OB：6 名、山友会：2 名。
- 読売新聞の週刊別冊「しが県民情報」より N 村会長が取材を受けて、9/23 (金) 発行の同紙に掲載予定。

## 3. 各担当より

- リーダー部、遭難対策・技術アップ、事務局：特になし
- 会計：会費未納者が会友 2 名、会員 1 名いるので、会長より連絡して頂く。
- 自然保護：放射線測定器を T 中理事より受け取った。  
 労山自然保護憲章を新しく入会された会員に配るため、全国連から取り寄せる。
- 労山基金：8 月中に 44 名の保険申し込み完了。
- HP：S 内氏から I 東氏への HP 運営の引継ぎが終了した。I 東氏の運営委員への就任に関して、本日の運営委員会で出席者全員に承認された。

## 4. 県連報告

第 6 回 ZOOM 併用理事会が 9/7 (水) に開催された。

### 1) 登山祭典に関して

- チラシを 300 枚 8/16 に発注して 8/26 に受け取る。各会に郵送済み。
- 近江湖南アルプス運営協議会にもチラシを郵送。
- 登山祭典の報告は県連ニュース 12 月号に掲載 (11/15 原稿締切)

### 2) 交流山行 (T 中 T)

- 9/3 (土) の雪稜会の「大和三山」と 9/3~4 の岳友会の「由良ヶ岳」は共に他会からの参加者なし。9/6 (火) の山友会の「野坂山地自然観察会」は中止。
- M 内理事長は交流山行を公開にしたい意向である。⇒ この件については 11/9 代表者会議で意見(交流山行と公開山行は別物。公開山行は各会が考えるもの。)を述べる予定。

### 3) 教育・遭難対策部

- ・初級登山教室 9/21 (水) に第7回座学教室
- ・座学・入門登山教室 9/13 (火) に第5回座学として後半開始

### 4) 機関誌部

- ・県連ニュース 10月号 (リレーエッセイ・表紙写真ともに山友会が担当)

### 5) その他

- ・HP 無料から年間 12,000 円の有料に変更し、了承された。
- ・ZOOM を今回無料で時間制限なしの SOBA meeting で試したが、スマホ利用で ZOOM が出来なかった。

次回、第7回理事会は 10/5 (水) にメール会議を予定。11/9 (水) は代表者会と第8回理事会を明日都浜大津会議室で実施予定。

## 5. その他

- ・事務所の装備品の整理で廃棄となった無線機とエコリカインクをオークションに出した所、5,357 円で落札された。会計に収入として計上した。(K 藤)
- ・夏原グラント交流会が 8/27 (土) に開催され、N 村氏と K 藤氏が参加した。
- ・会員を増やす方法として、子供にターゲットを絞ったイベントを会として計画すればどうか? (K 藤)

若者は SNS に興味があるので、フェイスブックを活用して山登りの楽しさを発信して行けばどうか? (K 嶋) K 嶋氏がフェイスブックの活用について検討する。

- ・交通費は 35 円/km です。
- ・会員動向：W 佐氏が 7 月末で退会。現会員数 44 名。

次回 第7回運営委員会は 10月11日 (火) 19時30分からです。



## 2022年10月予定表

1	土		19	水	
2	日	例会 鈴鹿縦走④ 安楽峠～832m峰	20	木	
3	月		21	金	
4	火		22	土	「ぶな」原稿締切
5	水		23	日	登山祭典(秋の公開山行)東ヶ谷山
6	木		24	月	
7	金		25	火	
8	土	例会 丹沢山・大菩薩嶺	26	水	
9	日	例会 丹沢山・大菩薩嶺	27	木	
10	祝月	スポーツの日 例会 丹沢山・大菩薩嶺	28	金	
11	火	第7回運営委員会	29	土	
12	水		30	日	例会 鈴鹿縦走⑤832m峰～小杜峠
13	木		31	月	
14	金		編集後記 写真展、盛況のうちに終わり、比良雪陵会の凄さを改めて感じる機会となりました。またまた登りたい山がいっぱい出来ました。皆さんと同じ景色が見れるよう頑張りたいです。		
15	土				
16	日				
17	月				
18	火				
11月の予定					
3	木・祝	飲み水水質調査・放射線測定山行			
20	日	冠山・金草山			
27	日	鈴鹿縦走⑥ 小杜峠～小岐須峠			
今月号と来月号の当番					
今月号は					
来月号は					



滋賀県勤労者山岳連盟

## 比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail [kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>